



嶋村 拓郎

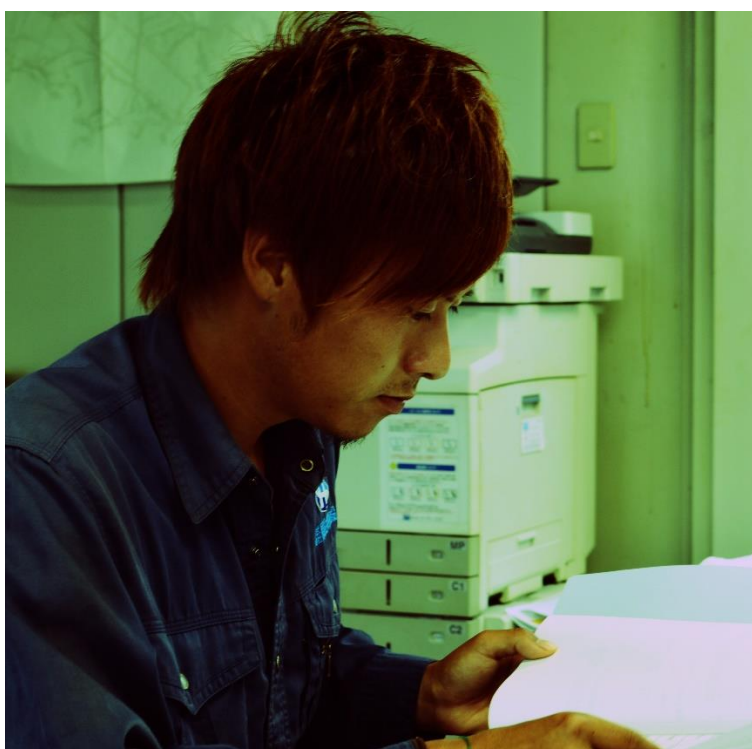
Takuro Shimamura

株式会社長谷川建設

「震災前以上の
陸前高田にしたい」

—Uターンのきっかけ—

震災後の2012年4月、大学でも野球をしようと思い福島の大学に進学しました。けれど、自分だけ普通の生活をさせてもらっていいのかなと疑問に思うことがあって。陸前高田に戻って、自分も仕事をして稼ごうと思ったんです。陸前高田に戻って何の仕事をしようとか、そういうのは特に決めていませんでした。しばらくして、震災復興に一番近くで携わることのできる建設業界に就職することに決めました。野球で付けた体力にも自信がありましたし。



—仕事—

現在の仕事は復興基盤総合整備事業小友地区第1号工事の施工管理をやっています。

整備に必要となる材料を発注したり、職人さんに指示を出したりもします。今の仕事のやりがいはいろいろありますが、自分で働いてお金を稼ぐ感じがいいし、また自分が指示を出して自分が思っていたように仕事が進んでいくのがとても面白いですね。

自分よりも年上の職人さんに指示を出すということに最初は遠慮があったけど、職人さんたちには「そのうち自分で決めて指示を出すようにならなければならぬのだから、自分の思ったとおりに指示を出していいんだよ」と温かい言葉をかけてもらい、思い切ってやっています。最近ではどうやって仕事をすれば効率的に仕事が進むのかを考えながらやれるようにもなってきた、少しずつ手ごたえを感じています。

—Uターンをして—

Uターンをしてよかったことはやはり地元の友達と遊べることですかね。素の自分でいられるんです。それに同じ業種の友人が多いので話もすごく合うし。一方で、自分の実家も被災して、家を建てたりすることも考えたりと責任も増えましたね。



—目標—

これからの目標としては陸前高田をいい意味で有名にしたいですね。陸前高田の人は人柄もいいし、街もすごくいい。自分はここで生きるのが宿命だと思っています。陸前高田に生まれ住んでいる人たちもみんな、陸前高田のことを考えて、どんな形でもいいから陸前高田に関わって欲しいですね。それで、みんなで震災前以上の陸前高田にしたいと考えています。